

Structure Kansai

No.164 2025.1

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

2025年 迎春号



「夢洲/大阪関西万博会場建設中
(2024年11月撮影)」



年頭のご挨拶
関西支部長

(株)竹中工務店
島野 幸弘

新年あけましておめでとうございます。
巳年(蛇年)が始まりました。蛇のように知恵と粘り強さで物事を進め、一步一步確実に目標に近づく一年となること、祈念しています。

昨年は活動方針、『世代を超えて、そして、会社の枠を超えて、JSCAで仲間と楽しむ』を継続し、その活動の一環として若手技術者との交流の場「JSCA関西U-45」を設置するとともに、「脱炭素推進委員会」を設置し、脱炭素社会実現への取り組みを始めました。今年はその活動をより推進したいと考えています。

さて、今年には阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎えます。昨年4月に企画WGを立ち上げましたが、1月18日に阪神・淡路大震災30年企画、「記憶を未来へ、教訓を減災に」を開催する予定です。南海トラフ地震等の巨大地震の発生が想定されている昨今、この企画を通じて防災意識の向上と知識の共有を図りたいと考えています。ぜひ、ご参加いただければ幸いです。会員の皆様には、今年も引き続き、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



年頭のご挨拶
関西副支部長

(株)山田建築構造事務所
宮崎 英也

新年あけましておめでとうございます。
早いもので副支部長に就任してから3年半が過ぎました。残りの在任期間も島野支部長、嘉村副支部長と協力し、支部活動に尽力してまいります。

2025年は夢洲で大阪関西万博が開催されます。昨年2月29日に行われましたJSCA関西主催の現場見学会も定員を超える応募があり大盛況に終わりました。

昨年JSCA関西では、「JSCA関西の将来を担う若い構造技術者との交流活性化」を目的として、「JSCA関西U-45 Next Generation」を立ち上げました。募集で集まったコアメンバー(世話役)による活動が始まり、1月には第1回全体企画(交流会)が予定されております。45歳以下のJSCA関西会員および非会員のご参加をお待ちしております。

2025年は乙巳(きのとみ)です。「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」という意味があります。これまでの努力や準備が実を結び始める年になることを祈っております。

本年も引き続き皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



年頭のご挨拶
関西副支部長

(株)日建設計
嘉村 武浩

新年あけましておめでとうございます。
本年はいよいよ大阪・関西万博開催の年となりました。昨年10月2日、3日の二日間にわたり、本部事業委員会主催、関西支部事業委員会共催の「見学会in大阪」が開催され、北は東北支部、南は九州支部から合計47名のJSCA会員が大阪に集まり、大阪・関西万博の現場を見学し、会員間の交流を深めました。構造技術者の視点からも非常に刺激的な建物が多く建設されているのを目の当たりにし、ここに国内外から多くの人々が集う姿を想像すると心が躍ります。万博の開催が今からとても楽しみです。

今年には巳年です。「巳」は蛇を意味し、脱皮して強く成長する生命力のイメージがあります。大阪・関西万博を契機に、日本および関西のプレゼンスがさらに発揮され、JSCA関西もこの成長の勢いに乗って、今後の活動がより活発化することが期待されます。

JSCA関西会員の皆様には、引き続きJSCA関西への積極的なご参加とご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



技術委員長
株式会社日建設計
吉田 聡

■技術委員会の活動状況と活動方針

2024年に都市木造分科会を新設し、JSCA関西技術委員会は10の分科会で構成されることになりました。分科会活動は、分科会メンバーによる情報・意見交換会と、分科会メンバー以外のJSCA会員に門戸を広げた拡大分科会(見学会や研究会等)を主な活動としています。例年5月の総会後に構造デザイン発表会を主催することも技術委員会の大きな役割です。2024年の構造デザイン発表会は5月16日に開催、参加329名で大いに盛り上がりました。拡大分科会は、5月9日にRC・PC工業化分科会共催で「最新RC・PC技術とその応用: 研究と事例の最新動向から」を開催しました。2025年は1月、2月に拡大分科会を開催、5月には構造デザイン発表会を開催予定です。引き続き分科会活動へのご理解・ご協力、また拡大分科会へのご参加をよろしく申し上げます。



株大林組
西影 武知

■地盤系分科会

当分科会は設計事務所・ゼネコン設計部・基礎関係の専門家・第三者機関など多岐にわたる業種のメンバーで構成され、現在30名で活動しています。分科会は例年4回程度開催し、毎回15~20名が参加し活発に活動しています。2024年度前半は建築基礎構造設計例集(赤本)についての勉強会を行いました。10月には毎年恒例の断層を歩くイベントとして茨木市の有馬高槻断層帯を地図で確認しながらメンバーで歩き楽しい会となりました。2025年3月にはSDGs・脱炭素をテーマに、既存地下構造再利用をタイトルとした拡大分科会を開催予定です。「じぼん」全体に関することをテーマに、あまり難しく考えることなく、幅広く意見交換や情報共有を行いたいと思います。今後ますます盛り上げていきたいと思っておりますので、興味のある方は是非お気軽にご参加ください。



株大林組
笹元 克紀

■RC系分科会

新年あけましておめでとうございます。2024年度から主査を務めさせていただくこととなりました笹元です。今年度は新しく3名の新会員を迎え、賛助会員の方を含めて総勢30名で活動しています。2024年は、3回の分科会と1回の拡大分科会を開催しました。5月に開催した拡大分科会はPC・工業化分科会との合同分科会となり、多数の方にご参加いただき盛況のうちに終わることができました。ご講演いただいた方、またご参加いただいた皆様ありがとうございました。また各分科会ではトピックス紹介のほか現場見学会を開催しました。1年を通して、分科会メンバーをはじめとした様々な方との交流の中で幅広い意見交換を行うことができ、たくさんの刺激を受けました。今年も積極的に活動を行う予定ですのでご興味のある方はぜひご連絡ください。



株大林組
三井 達雄

■金属系分科会

本年もよろしく願います。今年度から竹中工務店の九嶋さんより引継ぎ、金属系分科会の主査を担当させていただくことになりました。分科会は、賛助会員9名を含めた計36名の大所帯で活動しています。メンバーは、設計事務所・ゼネコン・鉄鋼メーカーで構成され、年3~4回の活動を行っています。今年度は、昨年度から引き続きカーボンニュートラルに向けた鉄鋼メーカーの取り組み、万博案件の構造計画事例、施工中の事務所ビルの見学を実施しており、鋼構造に関わる最新のトピックスを扱いながら、分科会メンバー同士の技術交流を深めています。参加したメンバーの方に気づきが得られる分科会を目指していきたいと思っておりますので、経験・年齢層を問わず興味のある方はいつでも参加可能です。気軽にお声かけいただければ幸いです。



株東畑建築
事務所
松村 健

■情報システム分科会

当分科会では、2~3か月ごとに分科会を開催し、設計事務所、施工会社構造設計部門の方、他、賛助会員様からも参加いただき11名で活動を行っています。活動内容は、メンバーの皆さんからの日常の設計業務や設計に関連する取り組みの中でのデジタルツールの活用について事例の紹介等です。本年度は、業務に関連したプログラミング言語(Python等)を用いた自作プログラム等の紹介があり、日常のデジタルツールの使用方法等、素朴な疑問に対し意見交換を行い和気藹々とした雰囲気の中で活動を行っています。当分科会は、若手、中堅を中心としたメンバー構成で、質問や意見などを言いやすい雰囲気もあります。このような分野に興味がある方は是非ご参加下さい。



株イオリ建築
設計事務所
平石 浩二

■耐震設計分科会

耐震設計分科会は『みんなで楽しく構造(耐震設計)について語り合う』をテーマに活動しています。会員同士のより深い交流のため、対面開催、および、懇親会開催を基本としています。会員は、総合設計事務所、ゼネコン構造設計部、構造専門事務所、構造計算適合性判定機関等の19名です。2024年度の開催は4回(トラス屋根工場見学、現場見学会2回、製鉄所見学)でした。懇親会では、色々な話題について、みんなで楽しく語り合っています。2025年度も4回の開催を目標にして積極的に活動していきます。会員も随時募集していますので、ご参加をお待ちしています。



(株)大林組
古島 正博

■PC・工業化分科会

新年あけましておめでとうございます。PC・工業化分科会は、プレキャスト、プレストレストコンクリート、工業化などをキーワードとした分科会です。メンバーは現在約20名で、ゼネコン設計部・設計事務所で構造設計をされている方や、構造系の大学教員、第三者機関、PC専門メーカーの方などで活動しています。分科会は年に3回程度開催しており、2024年5月にはRC分科会と合同で拡大分科会を開催しました。他にもプレキャスト及びプレストレストを用いた設計事例の紹介やPC工場見学会を、対面（+オンライン併用）で行っています。PCの経験のない方もおられると思いますが、分科会活動を通じてPCの理解を深めることができます。当分科会の活動に興味を持っていただいた方、JSCA関西事務局に是非ご連絡ください。



株日建設
田中 佑樹

■構造計画分科会

構造計画分科会は、現在約18名のメンバーで年3～4回の開催を目標に活動しています。主な活動内容は、実際に設計した事例を設計者に紹介していただき、質疑応答などによる対話を通じて、構造計画や構造設計に関する広い知識の共有と各人の技術レベルの向上を目指しています。設計事務所、ゼネコンの構造設計部や大学関係者など、様々な立場の方々から構成されており、設計者の苦労や工夫を感じるのみならず、様々な情報を得ることができ勉強になります。懇親会でも賑やかに意見交換から業界裏話まで貴重な交流の場となっています。去年は2月・7月・12月の3回の開催となりました。本年はより積極的に活動していきたいと考えています。新規メンバーも募集していますので、興味のある方はぜひJSCA関西事務局までご連絡下さい。



(株)ヤマダ
ホームズ
石田 健吾

■木構造分科会

木構造分科会では、構造設計者だけでなく意匠設計者や施工者（JSCA会員で関西支部所属）も参加し、年4回の活動を行っています。性能規定型設計法である限界耐力計算を基軸に木造のもつ本質に迫り、安易な補強に頼ることなく、木材・木造がもっている長所を生かして、本来の木造の美しさ、しなやかな力強さを構造設計の観点から再評価するために、知識・技術の向上を図ってもらうことを目指しています。

令和7年4月施行予定の改正基準法にも対応すべく令和5年10月に改定された「JSCA関西木造耐震マニュアル」をもとに、分科会の活動で得た知識・技術を生かし、伝統構法建物だけでなく、昨今叫ばれているSDGsやストック型社会への転換も見据え、一般の住宅なども対象に既存木造建物の保全や改修にも貢献していきます。



株山田建築
構造事務所
野村 建太

■法制分科会

法制分科会は、現在12名のメンバーで、3～4カ月に1回程度開催しています。活動内容は、主に建築基準法改定の内容や、新聞や雑誌の報道記事などの建築法制に関わるさまざまな問題や疑問について、実務に携わる構造設計者間の情報交換や討論を行っています。昨年からは、本部の法制委員会に参加する機会もあり、建築構造法制に関する情報共有も行っています。最近では海外の法律に触れて、日本と比較することで視野を広げる活動も行っています。また、弁護士で一級建築士でもある先生にアドバイザーとしてご参加頂いております。分科会活動は、分科会メンバーが活動しやすいよう配慮し、対面とリモートとの併用で開催していますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



株竹中工務店
須賀 順子

■都市木造分科会

新年あけましておめでとうございます。都市木造分科会は2024年4月に発足し、会員13名でスタートしました。メンバーは設計事務所・ゼネコン設計部の方々を中心に、都市木造の構造設計のための情報収集を中心に活動を始めました。分科会は、対面とWEBを併用して行っています。去年は、4月に1年間の活動について議論しました。7月には銘建工業(株)の宮竹様にお越しいただき、木造の高層化に対応した大断面集成材についてご紹介いただき、10月には(株)ストロークの大倉様と中村様に、柱梁仕口の半剛接合物の話題を中心にお話をいただきました。本年1回目は1月14日に拡大分科会を開催予定で、桜設計集団一級建築士事務所の安井昇先生にご登壇いただき、「最近の木造耐火に関する規制緩和」と題してご講演いただきます。ご興味おありの方は分科会にご参加ください。

JSCA関西支部 技術委員会 各分科会への参加方法

技術委員会の各分科会への参加方法は非常に簡単、以下の3STEPです。

- ① 事務局 (Mail:jscaweb@kansai.email.ne.jp、Tel: 06-4394-8433) に連絡をする。
- ② JSCA会員番号、氏名、所属会社、希望の分科会を伝える。
- ③ 分科会主査からの連絡を待つ。



JSCA関西現場見学会
「大阪大学感染症総合
教育研究拠点」

(株)鴻池組 宮久保 秀樹

■はじめに

この建物は、大阪大学吹田キャンパスの東部に位置し、「日本財団・大阪大学感染症対策プロジェクト」による感染症教育研究棟として整備され、大阪大学をはじめ国内外の研究機関や産業界から、感染症に関する「知」と「人材」が結集する感染症研究・人材育成の拠点となることを目指したものです。

2024年度第1回現場見学会が開催され、意匠・構造上も特徴的なこの建物を見学させていただきました。

■建築概要

工事名称：大阪大学（吹田）感染症総合教育研究拠点整備事業
 規模：地上10階建
 延床面積：15,316.58㎡
 建物高さ：43.2m
 設計・施工：大成建設・日建設計特定建設工事共同企業体



安藤忠雄氏がコンセプトデザインを手掛けており、「宇宙船地球号」のコンセプトのもと、楕円形の平面形状が積層され、外装の横ルーバーが印象的な建物です。

■構造概要

耐震構造：免震構造（基礎免震）
 構造種別：鉄筋コンクリート造
 架構形式：耐震壁付ラーメン架構
 基礎形式：杭基礎（既製杭）

基本計画は「鉄骨造＋耐震構造」であったものを、「RC造＋免震構造」で提案されたとのことで、その経緯としては、鉄骨コラム柱等鋼材納期の事情からRC造を選択し、フレキシブルな使用要

望を実現するためにコア廻りに耐震要素を集約すると建物のねじれが大きくなる構造計画上の不利を、免震化することで解決した、とのことでした。発想を大きく転換して、耐震性と合理性を得ることのできた好事例だと感じました。

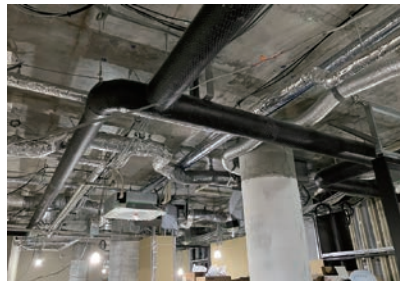
■構造上の特徴

上部構造の耐震架構として、コア廻りの連層耐震壁の頂部（10階）に階高1層分のハット形状の連スパン壁を設けてアウトリガー架構を形成し、連層耐震壁直下の変動軸力を建物外周側にも分散することにより、過大な引抜力を建物全体で負担する架構としています。このアウトリガー架構を4構面設けて地震力の70%を耐震壁で負担させ、変動軸力も33%程度低減されています。



フラットスラブ構造(7階見上げ)

コア廻りの耐震要素以外は、梁型及びキャピタルを設けないフラットスラブ形式（厚さ400mm）としています。外周部の円柱とも相まってスッキリとした空間になっていました。設備や間仕切りのフレキシビリティに対応でき、階高・建物高さの縮減にも寄与しています。見学の際は、天井を貼る前でしたので、折角の梁型無しのフラットスラブ底が隠れてしまうのが勿体無いと感じましたが、天井内に隠蔽される設備配管の多さを見ると、設備計画上のメリットの大きさを実感しました。



隠蔽前の設備配管

また、陸立ち柱を受ける3～5階のロングスパン梁や、免震装置を集約したことにより陸立ち柱を支持することになる1階梁についても、プレストレ

ス梁とすることにより応力・変形を制御し、フラットスラブについても、アンボンドPCとして、たわみ・振動を抑制しています。



施工状況(建物北面より)

■施工における苦勞

特にPC緊張に関連する工事での苦勞が多く、梁・床・スリット部の施工手順に苦慮されたとのことでした。また、1階エントランス吹抜部に面する打放し壁については、建物内部の顔になるため、安藤事務所からは「情熱をもって打設を」との指導もあり、専用の施工計画書を立案して対処されたとのことで、スランブフロー60cmの高流動コンクリートで丁寧に打設され、美しい打ち上がりになっていたのが印象的でした。



1階エントランス吹抜(左が打放し壁)

■おわりに

見学後の質疑応答も活発に行われ、丁寧に回答していただきました。

作業時間の制約も多く、厳しい工期の最中、大変お忙しい時期にも拘らず、見学会でのご説明をいただいた大成建設様に御礼申し上げます。2025年2月の竣工に向けて、この建物が無事に完成することを祈っております。

JSCA関西支部2024年度研修会



株式会社山田建築構造事務所
吉村 美緒

■研修会1日目

今回はじめて研修会に参加させていただきました。天候は1日目に傘をさすかどうか悩むほどの雨が少し降っただけで、2日目はなんとか持ちこたえてくれました。

研修会のテーマは、「平和都市広島、建築を巡り想いを馳せる」ということで広島市や宮島をまわり、そのテーマの通り、それぞれの建築がもつ美しさや素晴らしさを感じるだけでなく、今の自分が恵まれた環境にいるということに改めて気づくことができました。

一日目に見学したのは、

- ・旧日銀広島支店
- ・平和記念資料館
- ・原爆ドーム
- ・広島ゲートパーク
- ・エディオンピーススウィング広島
- ・広島市環境局中工場

◇旧日銀広島支店。爆心地から380mと近距離でありながら堅牢な構造で崩壊を免れたそうです。現代の建物であればどれだけ残っていたのでしょうか。



◇平和記念資料館。とても70年程前に建てられたものとは感じられず、普遍的なデザインというのはこういうものなのかな、と感動しました。中の展示は日本人として一度は見ることをお勧めします。

◇エディオンピーススウィング広島と原爆ドームの追加耐震補強設計は構造設計者の方から解説をして頂いたため、見学する際にもその説明されていた箇所に着目することができ、より思いを巡らせながら見ることができました。

大空間建築はダイナミックな構造体が綺麗で、それらをつなぎ、支持する接合部・仕口も確認でき、勉強になりました。

◇広島ゲートパークには、ちょうどお昼時ということもあり多くの方が昼食をとる等、人々の集う場所でした。ここでは見学する時間があまり取れなかったもので、いつかゆっくり行ってみたいです。◇広島市環境局中工場。アトリウム空間からのガラス、メタリックなごみ処理設備、植樹に意外な一体感と迫力があり、見とれてしまいました。



◇おわりに。皆様とても仲が良く、初参加の私にもとても気遣ってくださるような方々ばかりでした。研修の内容も、少しでも多くの建築にふれられるよう思案されて組まれた工程のように感じ、とても充実した時間となりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

JSCA関西支部2024年度研修会



株式会社北條建築構造研究所
吉田 勇哉

■研修会2日目

午前中、最初に訪れた先は、村野藤吾氏が設計を担当した「世界平和記念聖堂(1954)」(写真1)で、原爆犠牲者の追憶と慰霊、また世界平和のシンボルとなるべく企図された教会堂です。2006年に国指定重要文化財となり、2016年～2019年に大規模な耐震補強工事が行われました。当時携われた方によるご説明を受けてから見学させていただき、重要文化財ならではの難しさや大変さを丁寧に教えていただきました。鐘塔に関する補強は、沈下防止のための地盤改良、各階の曲げ耐力確保のためのPC鋼棒、7階部分のブレース補強を施していますが、外観からはほとんど補強されている様子はわからず、文化的価値を尊重していることが伺えました。普段は決して入

れないようなところまでご案内頂き、貴重な体験ができました。

2か所目の「広島市現代美術館(1989)」(写真2)は、黒川紀章の設計で現代美術を専門に取り扱う美術館としては、全国初です。見学時間が押していたこともあり急いで見て回りましたが、私にとっては難しい現代美術がより一層分らないものとなり、不思議な別世界に来たような時間を過ごしました。写真2はアプローチプラザを正面から見た様子ですが、円形屋根に一部スリットが入った方向は、原爆の爆心地を指しているとのこと。

午後からの見学というより観光は、広島で最も人気のある観光地でもあり、日本三景にも名を連ねる「安芸の宮島」(写真3)です。インバウンドにも人気のためかなり込み合っていました。とりわけ有名な厳島神社の大鳥居は一昨年70年ぶりの大規模修復工事が竣工し、堂々とした風格で海に立っている姿がとても印象的でした。一部廻廊屋根葺替工事のために足場がかかっている箇所もありましたが、これも数十年に一度しか見

られない景色だと思うと、歴史的建造物の時間的スケールの大きさが感じられました。

■おわりに

初めて参加しましたが、関西支部の方々はもとより中国支部の方々とも温かく交流させていただき、楽しい時間を共有できました。来年度も見ごたえのある建築巡りに、有意義な研修が企画されることを、心より願っております。



写真1

写真3



写真2

日本建築学会大会2024参加報告



(株)竹中工務店
須賀 順子

2024年8月27日~30日の間、明治大学とオンライン会場を併用して、日本建築学会大会が開催されました。私は、28日~29日の2日間、現地で参加しました。大雨の影響で29日は午前までの参加で帰宅をよぎなくされ残念でした。大規模木造のセッションと、木材料に関するセッションを中心に聴講したのでご報告します。

■大規模木造

大規模木造のセッションでは、RC造などを主架構とした躯体にCLTを耐震壁として用いるハイブリッド型の事例、木質ラーメンでは、制震化や大規模化のための柱の在り方を模索するものが複数例報告していました。CLT耐震壁では、RC造主架構とCLTの接合について、接合部にエポキシ系接着

剤を用いるタイプ、CLTにラグスクリューボルトを埋め込み鋼製金物を介して主架構に力を伝達する機構、CLTのめり込みのエネルギー吸収を期待する機構を解明しようとするものなど、幅広いアプローチの研究が発表されていました。ラグスクリューボルトなどの金物を使用する場合、破壊モードが木の割裂破壊など脆性的にならないように、最初に金属が降伏するような機構を目指すことが一般的になっています。木造ラーメンでは、高軸力を受けながら、水平抵抗も担える柱の研究などもあり、大規模木造を実現していくための様々な研究が紹介されていました。

■材料特性 (木質材料)

材料特性のセッションでは、多岐にわたる視点の研究が報告されていました。木材どうしの摩擦抵抗を評価する研究や、モルタルなどの異種材料との接合面が耐力や剛性に及ぼす影響の研究、また、これまで躯体材料として使われてこなかった樹種や、異樹種を組み合わせる研究、集成材を圧密し高耐力高剛性を得る研究など、木造の大型化・ハイブリッド化に

伴い、材料の特性をより効率的に設計に活用するための研究が多く見られました。

また、含水率に関する研究も様々な視点のものが紹介されていました。暴露されたCLTの含水率が部位によってどのように変化するか、空調下で木材の含水率がどの程度まで下がり割れとどう関連するか(筆者共著)など、基礎的な内容に思われてもこれまで誰も発表していないような研究発表も複数ありました。他にも、加工時にのこぎりを入れた木材表面の材料特性の変化なども報告されており、まだまだ分かっていない材料の特性があることを知りました。

■まとめ

木質関連のセッションを中心に聴講しました。今後の木造の大規模化や大スパン化、また、使用範囲の拡大に対応しようとする研究が多く発表されていました。木材の性能をめいっぱい使おうとするときに、知られていない木材の性質があるかもしれないということを、念頭に置いておく必要があると感じました。

第3回JSCA関西サロン/「スポーツを愛するエンジニアの集い」(BAR SUZUKI) 開催報告



(株)竹中工務店
鈴木 直幹

2024/9/27(金)に第3回JSCA関西サロン/「スポーツを愛するエンジニアの集い」を開催しました。

当初、8/30(金)の開催を予定していましたが、進路の読めない台風10号の接近により順延せざるを得ない状況となり、1か月後の開催となりました。

開催コンセプトを「パリ五輪とパラリンピックの熱戦を、選手の活躍はもちろんのこと、競技場の構造などの視点からも振り返る」・「構造エンジニアならではのスポーツの楽しみ方でワイワイガヤガヤ盛り上がる」・「スポーツの愛し方は問わない」・「自ら競技をする人、観戦大好きな人、スポーツ施設の設計が大好きな人、誰でもOK」と設定し、参加者を募集しました。

当初の8月末であれば、熱戦の余韻もあり集客が見込めると考えていましたが、熱戦も過去のこととなった9月末ほどの程度の方が集まってくれるか心配でしたが、入れ替わりながら15名程度の「スポーツを愛するエンジニア」に参加いただきました。

サロンでの議論のきっかけとなればと思ひ、パリオリンピックの競技施設の構造概要をまとめたパワーポイントのスライドショーと、オリンピック競技の無料動画をプロジェクターで上映しました。

紹介した競技場は以下の通りです。

- アクアティクスセンター(水球・飛込)
- ベルシー・アリーナ(体操・バスケット)
- パルク・デ・プランス(サッカー)
- ポルト・ド・ラ・シャペル・アリーナ(新体操)
- パリ・ラ・デファン・アリーナ(競泳)
- 選手村(木造)
- グラン・パレ(フェンシング)
- シャン・ド・マルス・アリーナ(柔道)

さすがに、皆さん「スポーツを愛するエンジニア」だけあって、かなり真面目な資料であっても新たな気付きなどを議

論していました。また、動画に関しては日本人選手がメダルを獲得した競技を中心に上映し、多少の酔いも手伝い、スポーツバー的な雰囲気でも盛り上がることができました。さらに、フライヤーで事前宣伝していた、何でも炭酸化する秘密兵器も非常に好評で盛り上がりも助けていました。

普段、あまり共通点がないと思っていた方々とスポーツの話のきっかけに、構造技術を中心に盛り上がるサロンになったのではないかと考えています。



阪神・淡路大震災30年企画「一記憶を未来へ、教訓を減災に」のご案内



阪神・淡路大震災
30年企画WG
株式会社竹中工務店
大野 正人

1. はじめに

2025年1月17日で阪神・淡路大震災が発災した1995年1月17日から30年が経過します。JSCA関西では10年目の2005年、20年目の2015年に震災の記憶を呼び起こすため、また震災から学んだことを再認識するために特別企画を開催してきました。30年目の今回も同様に特別企画「一記憶を未来へ、教訓を減災に」を開催することにしました。

2. 開催概要

開催日時：2025年1月18日（土）
10：00～16：30
場所：グランフロント大阪
うめきたSHIPホール
入場料：無料

企画内容：

- ①展示企画
- ②ドキュメンタリー映像
- ③講演会・パネルディスカッション
- ④記念冊子

3. 各企画概要

①展示企画

震災時の被害状況の写真、地震のメカニズム、現在想定されている地震、防災・減災のための対策等のパネルを展示します。映像資料の展示も企画しており、当時の様子をよりよく知ることができます。各企業のパネルでは最新技術について紹介します。

②ドキュメンタリー映像

震災当時の構造設計者の活動や心情を後世に遺すため、文集等に遺されている言葉や当時活躍した構造設計者へのインタビューをドキュメンタリー映像としてまとめました。未曾有の震災に立ち向かった構造設計者の想いを感じてください。

③講演会・パネルディスカッション

「記憶を未来へ ～構造設計者ができ

ること～」をテーマに、角彰氏、多賀謙蔵氏、山浦晋弘氏、嶋崎敦志氏、榊田洋子氏にご登壇いただき震災当時の経験および後世に伝えたいことを語っていただきます。また、パネルディスカッションでは更に深掘りして後世へのメッセージを発信していただきます。

④記念冊子

震災後に作成された文集および今回展示したパネルを1冊にまとめてご来場のみなさまに配布します。

4. おわりに

今回は一般の方々にもご来場いただくことにしました。震災を知る方々には当時の記憶を呼び起こしていただき、震災を知らない方々には新たに知っていただき、地震の脅威を感じるとともにその教訓を防災に生かし減災につなげていただければ願っています。

一方で構造技術者にとっては当時の建物の被害や構造設計者の言葉から多くのことを学び、感じ今後の成長の糧にいただければ幸いです。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

脱炭素推進委員会/構造技術者もカーボンニュートラルを考えないとダメなの？



株式会社
岡田 健

■脱炭素推進委員会の活動状況

JSCA関西支部「脱炭素推進委員会」は、2024年に設立されたばかりの特別委員会ですが、「脱炭素社会の実現に向けた構造技術者の社会貢献を推進すべく、会員の脱炭素リテラシーを強化するとともに、会員の技術力向上を図る」という委員会設立趣旨の下、脱炭素に関する知識を広くJSCA会員の皆様に浸透させるための企画案を議論しています。

■カーボンニュートラル (CN) って？構造技術者もCNを考えないとダメなの？

2020年に当時の菅首相が「2050年カーボンニュートラル (CN)、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言したことはご存知の方も多と思います。では、CNって何でしょう？なぜCNを達成する必要があるのでしょうか？

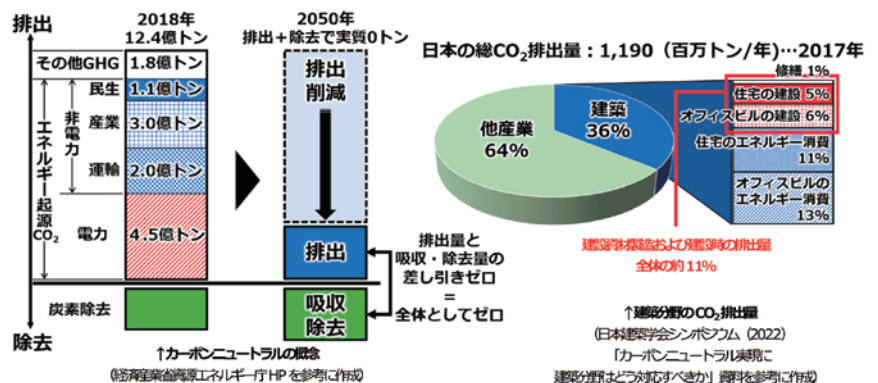
CNとは、CO₂などの温室効果ガス (GHG) の排出量を全体としてゼロ、すなわち排出量をできるだけ削減した上で、人為的にGHGの吸収・除去量を増やすことで差し引きゼロとすることを言います。2050年CN達成の目標は、産業革命以前からの世界の平均気温の上昇を1.5℃までに留め、更なる地球温暖化を抑えることを目的として設定されています。

日本の年間のCO₂排出量約12億トンのうち約1/3が建築分野と言われており、その約1/3、つまり日本の総排出量の約1割が建設資材製造および建設時の排出量と言われています。躯体資材の決

定に関わる構造技術者がCN達成に向けて果たすべき役割は決して小さくありません。

■こんな企画を予定しています

脱炭素推進委員会では、このような脱炭素にまつわる基礎的な知識から皆様と共有していきたいと考えており、第一弾の企画として、若手・中堅の構造技術者向けに「脱炭素の基本」をお伝えする講座を開催することを計画中です。「脱炭素の基本のキ」をまずはインプットしていただくことで、皆様の日々の活動において脱炭素のことを少しでも考えていただくきっかけになればと考えています。



●事務局だより

1.支部総会

開催なし

2.支部幹事会

1128(予定18:15~19:45)

ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

3.運営会議

1017(17:00~18:00)ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

1128(16:30~18:00)ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

1226(予定18:00~20:00)

ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

4.事業委員会

1007(18:00~19:00)ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:第1回現場見学会、研修会、

新年研究会について

1111(予定18:00~19:00)

ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:第2回現場見学会、研修会、

新年研究会について

1209(予定18:00~19:00)

ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:新年研究会について

5.技術委員会

1029(18:00~20:00)ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:各分科会活動、本部技術委員会報告

6.広報委員会

1220(予定18:00~19:00)

ZOOM会議併用

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:1. Structure Kansai NO. 165号

編集会議

2. Structure Kansai NO. 166号

企画会議

7.脱炭素推進委員会

1015(18:00~19:30) 第5回

場所:竹中工務店B1階T'sイノベーション
サロン

内容:脱炭素推進委員会企画の検討、
情報共有

1112(予定18:00~19:30) 第6回

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:脱炭素推進委員会企画の検討、
情報共有

1217(予定18:00~19:30) 第7回

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:脱炭素推進委員会企画の検討、
情報共有

8.耐震診断・補強判定委員会関西部会

1022(18:00~20:00) 第123回

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:耐震診断・補強計画判定の報告

1218(予定18:00~20:00) 第124回

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:耐震診断・補強計画判定の報告

9.木造住宅レビュー委員会

01018(17:30~19:00)

場所:SERB会議室

内容:レビューに関する諸問題、実務講習
会について

1126(予定17:30~19:30)

場所:SERB会議室

内容:未定

12月未定

内容:未定

10.構造レビュー委員会

開催なし

11.研究会・記念事業

開催なし

12.現場見学会

1002~1003 JSCA見学会in大阪

(建物&現場)2025年大阪・関西万博、

グラングリーン大阪見学会

1024 大阪大学(吹田)感染症教育研究拠点

現場見学会 参加者23名

1204 心斎橋プロジェクト現場見学会

13.研修会

1115~1116 JSCA関西支部2024年度

研修会

「平和都市広島、建築を巡り想いを馳せる」

-広島市~宮島-

14.支部報

Structure Kansai No.163(2024.10)

発行

15.技術委員会各分科会

○地盤系分科会

1025(15:00~17:00)

場所:茨木高槻界限

内容:茨木高槻断層を歩く

○RC分科会

1122(予定18:00~19:30)

場所:大林組会議室

内容:設計事例紹介・基整促36について

○金属系分科会

1209(予定15:30~17:00)

ZOOM会議併用

場所:大林組日生淀屋橋ビル5階

内容:未定

○情報システム分科会

1206(予定18:30~)

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

内容:未定

○構造計画分科会

1203(予定18:00~19:30)

場所:日建設計大阪オフィス

銀泉備後町ビル8階 会議室

内容:設計事例紹介・「京都競馬場」

○耐震設計分科会

1023(15:15~17:15)

場所:大阪府箕面市

内容:現場見学

1128(予定13:40~16:50)

場所:兵庫県加古川市

内容:工場見学

○PC・工業化分科会

1112(14:00~16:00)

場所:オリエンタル白石滋賀工場

内容:PC工場見学

○木構造分科会

1008(18:00~20:30)

場所:SERB会議室

内容:暴風時の検討について

○法制分科会

1127(18:00~19:00)ZOOM会議併用

場所:JSCA関西事務局

内容:未定

○都市木造分科会

1015(16:00~17:45)ZOOM会議併用

場所:JSCA関西事務局

内容:接合金物について

※下線付きは拡大分科会を示す。

16.サテライト活動

・奈良会 開催なし

・京滋会 開催なし

・兵庫会 開催なし

17.講習会

1010(13:15~17:30)

限界耐力計算による木造耐震設計法の

実務講習会 参加者19名

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

1114(予定13:15~17:30)

限界耐力計算による木造耐震設計法の

実務講習会

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

1212(予定13:15~17:30)

限界耐力計算による木造耐震設計法の

実務講習会

場所:柴田東急ビル4階JSCA関西事務局

18.親睦会

1002 見学会in大阪(建物&現場)

意見交換会

19.関連団体との交流

1024 在阪建築15団体午餐会

●編集後記

ご多忙の中、執筆にご協力頂いた皆様
方に厚く御礼申し上げます。

EXPO2025が4月から始まります。
JSCA 関西 U- 45 Next Generation も
始動しました。各委員会、分科会、WG等
の活動も活発です。今年は世界の人々とも
交流が深まりそうです。JSCA関西と大
阪・関西の建築構造の魅力をさらに発信
していきたいですね。

まだまだ寒さが続きますので皆様ご自
愛ください。(平石、伊藤)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会
関西支部事務局
(下記に移転致しました)

〒550-0005

大阪市西区西本町1-7-8 柴田東急ビル402

Tel 06-4394-8433 Fax 06-4394-7566

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL http://jscakansai.com/